

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

ジベンジルエーテルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

第 0 7 0 5 3 号

試験方法

本試験は、OECD化学品テストガイドライン 202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験及び繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：ジベンジルエーテル
- 2) 曝露方法：半止水式（週3回 全量換水）
- 3) 供試生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 試験水温： $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 5) 曝露期間：21日間
- 6) 試験水量：400ml
- 7) 連 数：1濃度区 4連
- 8) 生物数：40頭／1濃度区（1連につき10頭，1濃度区40頭）
- 9) 照 明：16時間明／8時間暗
- 10) 試験濃度：対照区，助剤対照区，0.022，0.048，0.10，0.22，0.48及び1.0mg/L
- 11) 試験水中の被験物質の分析：ガスクロマトグラフ法（開始時，2日後の換水前，7日後の換水後，9日後の換水前，14日後の換水後及び16日後の換水前）

結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの半数致死濃度
 $\text{LC}_{50} (21\text{days}) = 0.64\text{mg/L}$ (95%信頼区間：0.58～0.71mg/L)
- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度
 $\text{ErC}_{50} (21\text{days}) = 0.76\text{mg/L}$ (95%信頼区間：0.60～1.0mg/L)
- 3) 最大無作用濃度 (NOECr) = 0.098mg/L
- 4) 対照区と有意差の認められる最低濃度 (LOECr) = 0.23mg/L
(上記濃度は，全て実測値に基づく値)